

飲料ドリンクの嗜好と価格の印象は時間帯によってどのように変化するか？

75期生 4組 数理情報ゼミ 氏名天瀬泰輝

はじめに

リサーチクエスト

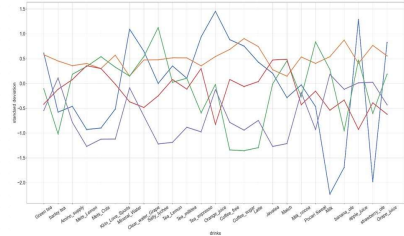
飲料ドリンクの嗜好と価格の印象は時間帯によってどのように変化するか？

動機・背景

清涼飲料水とひとくくりに言ってもミネラルウォーター、フルーツジュース、野菜ジュース、豆乳や摂取時に希釈、融解等により飲み物として摂取することを目的としたものを指すため、その種類は多岐にわたる。しかしながら一部の学校などの場所で実際に必要とされる場面のニーズに合っていない清涼飲料水が設置されているという反面がある。本研究では、「飲料ドリンクの嗜好と価格の印象は時間帯によってどのように変化するのか」というリサーチクエストのもと本校のニーズに合った清涼飲料水を調査していく。

結果③

清涼飲料水の味印象と種類についての相関図(クラスタリング)



手法および方法

手法

- ① 都立大泉高校の自走販売機に設置してあるすべての商品の種類と値段について調べる。
- ② 調べた商品を、「各時間帯で飲みたいと思う清涼飲料水」「それぞれの清涼飲料水の価格の印象」「清涼飲料水の味の印象」という項目に分けてアンケート行う。
- ③ そのアンケートの結果を元に、「各時間帯ごとで飲みたいと思う清涼飲料水」のアンケート結果は相関分析にかける。
- ④ また、「それぞれの清涼飲料水の味の印象」は主成分分析を行い、k means法を用いてクラスタリングを行う。

考察

結果①からの考察

・休み時間と帰宅時に飲みたい清涼飲料水には共通点が見受けられなかった。このことから、休み時間と帰宅時に都立大泉高校の生徒のニーズに応える共通の清涼飲料水が不足しているといえる。

結果②からの考察

・主成分分析、クラスタリングからデータが五つの特徴別に分析された。都立大泉高校の生徒の価格印象としてはジュース類が高いという傾向がある。

結果③からの考察

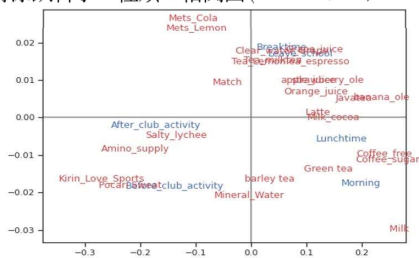
・結果②と同様にして主成分分析、クラスタリングからデータが五つの特徴に分類された。結果①、②、③からの考察

・結果①、②、③から現在大泉高校の自動販売機の飲み物で足りてないものは、休み時間と帰宅時に飲む価格の安いコーヒー類、ジュースであるとわかった

結果

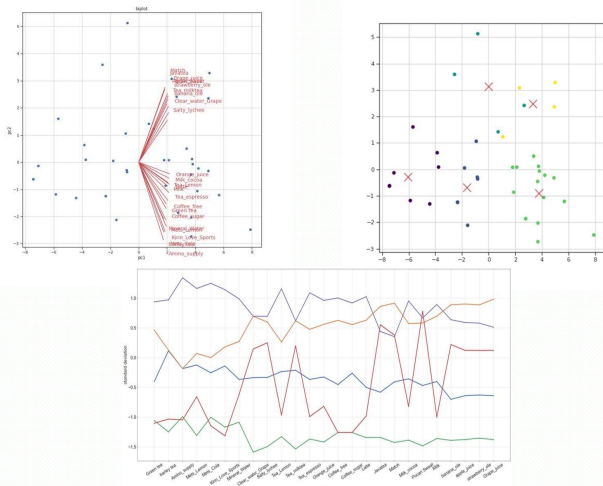
結果①

時間帯と清涼飲料水の種類の相関図(相関分析)



結果②

清涼飲料水の価格印象と種類についての相関図(主成分分析、クラスタリング)



結論・展望

今回の探求活動では、都立大泉高校内での調査だったので次は公民館の自動販売機とその商品についてのアンケートを市民等にとって探求し世の中の役に立つ探求を行っていく。

引用・参考文献

1. マーケティング用語集 株式会社intage インテージ
<https://www.intage.co.jp/glossary/401/2021/12/15>
2. コレスポンデンス分析 徹底解説 ~コレスポンデンス分析とは何か、活用方法、メリットまで knowledge NEOMARKETING
<https://neo-m.jp/column/marketing-research/-/3022/2021/12/14>
3. k-means法を理解する @g-k Qiita
<https://qiita.com/g-k/items/0d5d22a12a4507ecbf112021/12/15>

謝辞

数理情報ゼミ担当の山口貴史先生、TAの廣瀬拓海先生、駒崎智紀先生、その他かかわってくださった方々ありがとうございました。